

だい かいとよかわした ぶん かきようせいすいしん
第3回豊川市多文化共生推進プラン（2025－2029）
さくてい いんかい ぎ じろく
策定委員会議事録

にちじ れいわ ねん がつ にち きん ごぜん じ ふん ごぜん じ ふん
日時 令和6年11月15日（金）午前10時00分から午前11時00分まで
ばしょ ほん かいぎ しつ ほんちようしゃ かい
場所 本34会議室（本庁舎3階）
しゅつせきしゃ
出席者

いんちよう こんどう あつし めいじようだいがくほうがくぶきようじゅ
委員長 近藤 敦・・・名城大学法学部教授
ふくいんちよう おとべ のりゆき もとすわれんくちよう だいだこうく かいがいちよう
副委員長 乙部 法行・・・元諏訪連区長・代田校区まちづくりの会会長
いん のだ よしひろ だいだしょうがっこうこうちよう
委員 野田 佳宏・・・代田小学校校長
いん たじま みきひさ がっこうきよういくかしどうしゅじ
委員 田島 幹久・・・学校教育課指導主事
いん のだ ゆういち とよかわこうきょうしよくぎょうあんていじよしよちよう
委員 野田 裕一・・・豊川公共職業安定所所長
いん さはら けいこ とよかわしょうこうかいぎしよじむきよくじちよう
委員 佐原 圭子・・・豊川商工会議所事務局次長
いん にしほり ゆりえ のうぎようきようどうくみあいそ うむぶ そうむ かちよう ほさ
委員 西堀 由利恵・・・ひまわり農業協同組合総務部総務課課長補佐
いん ふじた とよかわしこくさいこうりゅうきようかい
委員 藤田 ミゲル・・・豊川市国際交流協会ボランティア
いん かとう えつこ とよかわしこくさいこうりゅうきようかいじようむり じ
委員 加藤 悦子・・・豊川市国際交流協会常務理事
いん すずき こうぼがいこくじんしみん
委員 鈴木 メアリー・マリー・・・公募外国人市民

じゅんふ どうけいしりやく
※ 順不同敬称略

じむきよく しみんぶちよう しみんぶじちよう しみんきようどうこくさいかちよう かちよう ほさ こくさいかかりちよう こくさい
事務局 市民部長、市民部次長、市民協働国際課長、課長補佐、国際係長、国際
係員
ぼうちようしゃ めい
傍聴者 0名

ぎ じ がいよう
議事概要

1 はじめに

2 議題

（1） とよかわした ぶん かきようせいすいしん あん
豊川市多文化共生推進プラン（2025－2029）（案）について（資料
1）

① 目標指標について

きほんほうしん もくひようしひよう
基本方針【1】の目標指標について

【委員】

基本方針【1】の目標指標「日本語指導助手の言語数と人数」について新たに増やす言語はどの言語を考えているか。現在、タガログ語とベトナム語の日本語指導助手が非常勤で、一日4時間の勤務なので、できれば常勤化してくれるとありがたい。さらにベトナム語の日本語指導助手に関しては現在産休中で不在という状況なので、穴埋めをしていただきたい。

【事務局】

日本語指導助手の人数に関しては、令和7年度に1名増員し、13人になる予定。新たに増やす言語に関しては、決まっていないが、現在人口が増加しているインドネシアなど、状況に応じて増やす言語は考えていきたい。

【委員】

不登校の児童生徒が全体として増えていると聞いたが、不登校の外国人児童生徒の状況はわかるか。

【事務局】

不登校の外国人児童生徒数は事務局としては把握できていない。外国人児童生徒については、学校の先生方が、日本語が未熟で学校になじめない状況と判断した場合はこぎつね教室を紹介していただき、早い段階で日本語の習得ができるような工夫をしている。

【委員】

不登校の児童生徒数は把握しているが、外国人児童生徒としてピックアップして集計はしていないため、現状不登校の外国人児童生徒が何人いるかというところまでは把握していない。

【委員】

できるならば今後把握していただいたほうがいいかもしれない。

【委員】

代田小学校は日本語指導が必要な児童が66人いる。代田小学校の現状でいえば、外国ルーツだということに限らずそれぞれの児童の発達段階によって不登校となっているので、顕著に外国ルーツの不登校児童が多いということはないと認識している。

基本方針【2】の目標指標について

とく しつもん いけん
(特に質問や意見なし)

きほんほうしん もくひょうしひょう
基本方針【3】の目標指標について

いいん
【委員】

きほんほうしん もくひょうしひょう がいこくじん ちょうないかいかつどう さんか ちょうないかい わりあい
基本方針【3】の目標指標「外国人が町内会活動に参加している町内会の割合」
について、「町内会アンケート今後実施予定」とあるが、完成版には実数はい入るの
か。

じむきょく
【事務局】

じっし ま あ げんこうち はい げんじょう はい よてい
アンケートの実施が間に合えば現行値が入るが、現状は「一」が入る予定。

じっししきく
②実施施策について

いいん
【委員】

きほんほうしん しゅうがくまえじどう にほんごしどうとう じぎょう
基本方針【1】のNo.6「プレスクール（就学前児童の日本語指導等）事業の
実施」について、幼稚園・保育園への周知は行われているか。

じむきょく
【事務局】

さくねんど えんちやうかい しゅつせき しょうかい
昨年度は園長会へ出席し、プレスクールの紹介をさせていただいた。

いいん
【委員】

げんごべつつうやくしやあんないひょうじ たげんご たいおう かのう しょくいん
No.37「言語別通訳者案内表示」について、多言語での対応が可能な職員はどれく
らいいるのか。

じむきょく
【事務局】

どれくらいいいるか把握はできていない。しょくいん なか まわ い
職員の中には、周りには言っていないが
じつはがいこくご はな しょくいん しょくいん さが あんない
実は外国語が話せるという職員もいるようなので、そういった職員を探し、案内バ
ッジをつけていただくことで外国人市民が話しかけやすい体制を作ることができる
かんが
考える。

いいん
【委員】

がいこくじんじどうせいとたんとうしや しどうりよく こうじやう がいこくじんじどうせいとたんとうしや
No.12「外国人児童生徒担当者の指導力の向上」について、外国人児童生徒担当者
よりも実務を担当している人への研修のほうが指導力の向上につながると思う。

また、No.17「外国人生徒やその保護者を対象にした進路説明会の開催や進路に関
する情報の提供」について、中学生に対する進路説明も大事だが、小学校高学年
たい ぼごしや みとお も しんろせつめいかい かいさい しんろ かん
に対して、保護者に見通しを持ってもらうための進路説明会を行ってけるとありが
たい。

いいん
【委員】

No. 17 については、^{しょうちゅうがっこう}小中学校の^{ぜんほごしやむ}全保護者向けに一昨年^{おとし}から^{みと}御津あおば^{こうこう}高校と市と^{ごうどう}合同で^{しんがくせつめいかい}進学説明会^{おこな}を行った。^{しょうちゅうがっこう}小中学校で^{しゅうち}周知をしたが、^{さんか}参加者数が^{すく}少なく、^{ほんねん}本年は^{にん}12人のみの^{さんか}参加となった。しかし、^{さんか}参加された方に^{かた}日本の^{にほん}学習システムについてよく^{りかい}理解をしていただいたので、^{てごた}手応えは^{かん}感じている。

【委員】

^{きんねん}近年、^{こうこうにゆうし}高校入試の^{しゅつがん}出願が^{おこな}ネットで^{そうさ}行えるようになったが、その^{がいこくじん}操作が外国人には^{むづか}難しい。その^なサポートは^{おこな}何か行っているか。

【委員】

^ねネット^{しゅつがん}出願のサポートについては、^{けん}県に^{そうさほうほう}操作方法や^{つうちぶん}通知文の^{ほんやく}翻訳を^{ようぼう}要望したが、^だまだ^{かいとう}出せない^{とよかわしきょういくいいんかい}と回答があった。それならば^{ほんやく}豊川市教育委員会^{はいふ}のほうで^{ほんやく}翻訳し^{りゆう}配布してもよいかと^き聞いたところ、^{ほんやくぶん}翻訳文の^{ちが}ニュアンスが^{りゆう}違ってくるといけないという理由から^{ことわ}か断られたという^{けい}経緯がある。そのため、^{げんじょう}現状は^{せんせい}先生が^{となり}隣で^{いっしょ}一緒に^{そうさ}操作し^{しゅつがん}出願をするなどの^{おこな}サポートは行っている。

【委員】

No. 27 「外国人市民への日本の生活ルール等に関する講演会等の実施」について、^し「市や^{けいさつとう}警察等と^{れんけい}連携して」とあるが、^{けいさつ}警察は^{こうえんかいとう}講演会等で^{はな}どんなことを話すのか。

【事務局】

^{こうつうあんぜん}交通安全について^{はな}話してもらう。^{こうつう}交通ルールについては、^{さいきん}最近、^{じてんしゃ}自転車の「ながら^{ばっそくきょうか}スマホ」が^{しゅき}罰則強化、「^{うんてん}酒気帯び運転」が^{あら}新たに^{ばっそくたいしゅう}罰則対象とされたが、^{がいこくじんしゅみん}外国人市民に^{つた}伝わっていないといけないので、^し市Facebookや^{あんしん}安心メールで^{はっしん}発信した。

【委員】

51P の外国人市民アンケート④、^{がいこくじんしゅみん}差別を感じた^{さべつ}状況^{かん}について「^{じょうきょう}仕事をしているとき」が^{しごと}45.5%と^{もつと}最も^{たか}高かったが、^{ろうどうかんきょう}労働環境の^{せいび}整備に関する^{かん}施策がない。No. 46 「^{しきく}関係^{かんけい}機関との^{しゅうろう}就労に向けた^む情報共有と^{じょうほうきょうゆう}連携強化」に^{れんけいきょうか}就労だけではなく、「^{さべつ}差別のない^{こうせい}公正な^{しゅくばかんきょう}職場環境を守りましょう」のように^{ろうどうかんきょう}労働環境の^{せいび}整備を追記したらどうか。

【事務局】

No. 46 は^{かくじゅうじぎょう}拡充事業、^{じゅうてんじぎょう}重点事業に変え、^{ろうどうかんきょう}労働環境の^{せいび}整備に取り組んでいく。

【委員】

No. 44 「災害時通訳ボランティアの登録・養成の促進」について、^{さいがい}若い方の^{じつや}登録を^{とうろく}促進^{ようせい}しようとしても、^{そくしん}仕事をしている方が^{わか}多く、^{かた}有給^{おお}を使って^{ゆうきゅう}出る等^{つか}しなく^でいけないため、^{ようせいかうざとう}ボランティア養成講座等の^{さんか}参加が^{むづか}難しい。会社の^{かいしや}理解を得られるよう^{りかい}企業を^え通^{きぎょう}企業を^{とお}通

して啓発^{けいはつ}をしていったほうがいい。商^{しょう}工^{こう}会^{かい}議^ぎ所^{しょ}の方^{ほう}でも各^{かく}企^き業^{ぎょう}にPRのチラシの配^{はい}布^ふ
等^{とう}協^{きょう}力^{りょく}はできるので検^{けん}討^{とう}して欲しい。

【事務局^{じむきょく}】

先^{せん}週^{しゅう}「防^{ぼう}災^{さい}ってお互^{たが}いさま！」という講^{こう}座^ざを实^{じつ}施^しし、外^{がい}国^{こく}籍^{せき}通^{つう}訳^{やく}ボランティアの方^{かた}
にも案^{あん}内^{ない}をした。そこで、災^{さい}害^{がい}時^じの映^{えい}像^{ぞう}を見^みてもらい、災^{さい}害^{がい}やボランティアについて
知^しってもらった。防^{ぼう}災^{さい}訓^{くん}練^{れん}等^{とう}の参^{さん}加^か案^{あん}内^{ない}について、企^き業^{ぎょう}を通^{とお}して周^{しゅう}知^ちしたいが、
外^{がい}国^{こく}人^{じん}が働^{はたら}いている企^き業^{ぎょう}の情^{じょう}報^{ほう}を教^{おし}えていただくことが難^{むずか}しい。商^{しょう}工^{こう}会^{かい}議^ぎ所^{しょ}の方^{かた}
に登^{とう}録^{ろく}のある企^き業^{ぎょう}すべてにチラシの配^{はい}布^ふ等^{とう}PRをしていきたい。

- (2) 豊^{とよ}川^{かわ}市^し多^た文^{ぶん}化^か共^き生^{せい}推^{すい}進^{しん}プ^ぷラン(2025-2029)概^{がい}要^{よう}版^{ばん}(案^{あん})について
(資^し料^{りょう}2)

(特^{とく}に質^{しつ}問^{もん}や意^い見^{けん}なし)

- (3) そ^たの他^た

(特^{とく}に質^{しつ}問^{もん}や意^い見^{けん}なし)